



## 頌徳碑(しょうとくひ)と 龍門文庫

校庭の体育館前に立派な石碑が立っています。先週の日曜日、拓本をとりにお客様（阪本仙次顕彰会関係者）が数名来校されました。石碑に刻まれた文字を要約して紹介します。

### □頌徳碑□

龍門村では、三つの小学校を一つに統合しようとして、長い間もめていました。そんな時、阪本猷（さかもとゆう）さんが推薦されて村長となりました。周りの人たちを説得したり、自分の財産を使って、村人が仲良くできるように、公会堂（学校の講堂）を建てました。そして明るい村になりました。

阪本猷さんは、町内の旧家で、勲章を贈られた阪本仙次さんの長男として明治24年8月11日に生まれました。慶応大学を卒業後、吉野鉄道会社関西急行鉄道会社重役、奈良信託会社社長となりました。みんなのために多くの財産を使った人に贈られる勲章も贈られました。また、上市及び吉野山の別荘で身に余る待遇を受けて感謝しました。阪本猷さんは、温潤清謙（猷氏の人柄示した言葉）。椽舎と名付けて古い本を集めることを楽しみにしました。

龍門文庫は、良い本がたくさんあります。千代子夫人もまた、素晴らしい人です。阪本猷さんは今年の6月19日病気で亡くなりました。ここに、村の人が碑を建てて、このことを永く伝えようと思いました。そこで歌を一首書きました。

吉野山で朝、雲を見上げるようにあなたを見上げながら建っている碑です。

昭和17年9月 帝国学士院会員 佐佐木信綱 文章を作る。

「吉野中学校校歌」は佐佐木信綱氏の作詞によるものです。吉野中学校開校当時、千代子さんがどこにも負けない立派な校歌を吉野町にとの願いを込めて、京都大学に出向き、佐佐木信綱氏に吉野中学校校歌制作を依頼してくださいました。その校歌は、来年度からさくら学園の校歌として本校の子どもたちも受け継ぎます。

龍門文庫の皆さんは、現在も図書ボランティアとして図書室をどの学校にも負けない使いやすく、そして温かいものにしてくださっています。

阪本猷さん、千代子夫妻が当時の小学校に公会堂（講堂）や学校用地等、子どもたちのために私財をなげうって現在の吉野北小学校の礎を築いてくださっています。千代子夫人に寄贈していただいた体育館のグランドピアノは令和になっても現役で活用させてもらっています。今年度で吉野北小学校は閉校となります。子どもたちが北小学校児童として歌う最後の校歌も千代子さんに贈っていただいたピアノ伴奏で幕を閉じることとなります。



## ボランティアの皆さん、ありがとうございます!⑤

7名の方が登録し、北小学校と吉野小学校でお世話になっています。5年生と6年生の裁縫の時間に来ていただき指導してくれています。家庭科担当職員だけでは次々起こるミシントラブルに対応しきれません。ボランティアさんが一緒になって、ミシンの使い方や縫い方、針の使い方、アイロンのかけ方、糸がもつれた時の対処法等、懇切丁寧に教えてくださいます。ボランティアさんが来てくれる前までは、質問やトラブル発生時に、先生が来てくれるまで待つ時間が長く、なかなか作品制作がはかどらない問題がありました。ボランティアさんのおかげで、効率よく学習が進みます。本当にありがとうございます。また、コロナ禍で教室が密にならないように必要時には2教室での授業も可能となりました。



※次回は花植ボランティアさんを紹介します。

